

広報

温か味、おとどけ。

おいしだ

大石田町

2019 **8**

No.758

大石田まつり

P2 ~ 3

みんなのスポーツ

P6 ~ 7

ニュース玉手箱

P8 ~ 10

■表紙写真

大石田まつり成人神輿（8月16日）

多くの人でにぎわう本町通りを、新成人が威勢の良い掛け声で力強く練り歩きました。

維新祭

県内外から踊りと太鼓の20団体500名が集結。華やかな踊りと力強い太鼓の競演が繰り広げられました。



まつりの最後は、みんなで踊ろう元祖花笠踊り。踊り手も観客も一緒になって大きな輪を作りました。



最も維新祭を盛り上げた団体（MIM）に輝いたのは初参加の岩手県奥州市「水沢民族舞踊サークルたけのこ」。しなやかな踊りで1年の農作業をコミカルに表現した「農耕踊り」で会場を盛り上げました。



昭和6年より続く伝統の花火大会は日本一の町民号「20号玉10連発」をはじめとした大型花火や、幻想的な創造花火など約3,000発の花火が打ち上げられ、訪れた多くの観客を魅了しました。

夜空を彩る3,000発の花火が観客を魅了



台風の影響が心配された大石田まつり。夕方には雨がやみ、新成人による成人神輿、大桂睦会と山形連合による神輿渡御が、威勢の良い掛け声とともに多くの人であふれる本町通りを力強く練り歩きました。



大石田まつり



町民号の打ち上げトラブルについて（おわび）

最上川花火大会のクライマックス・町民号「20号玉10連発」において、点火装置のトラブル（雨による漏電）により打ち上げが予定時刻よりも遅れてしまいました。皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今後このようなことが起こらないよう、万全な準備を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。
大石田まつり委員会



大石田の夏、まるかじり！



スイカオーナー収穫イベントが7月27日（土）、28日（日）の2日間、深堀ふれあい農園で行われ、県内外からオーナー登録している家族連れなど約500人が訪れ、大きく実ったスイカの収穫体験を楽しみました。農園を管理する芳賀哲雄さんによると7月に入ってから低温が続いたために管理には気を使ったそうですが、今年も甘くておいしいスイカになったとのこと。オーナーが大きく育った自分のスイカを収穫し、重そうに抱えていました。

イベントはスイカやべそ漬の試食コーナー、すいか割りや種飛ばしなどのゲーム、特産品などが当たる抽選会や野菜の収穫体験など盛りだくさんの企画で、参加者は大石田の夏を満喫していました。



令和元年度大石田町成人式



令和元年度大石田町成人式が8月15日（木）に虹のプラザ多目的ホールで行われました。今年は平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた、男52人女31人の合わせて83人が成人を迎えました。式典では庄司町長が「ふるさとに誇りと愛着を持ち、新しい時代を皆さんの手で築いていってください」と新成人を激励。新成人を代表して阿部ひかりさんと長瀬隼さんが二十歳の誓いを述べました。続いて行われた二十歳のつどいは久しぶりに再会した先生や友人と思い出話に花を咲かせ、友人たちと楽しい時間を過ごしていました。

二十歳の誓い



長瀬 隼さん
（海谷）



阿部 ひかりさん
（緑谷）

40年後の私へ。
Dear me after 40years. Do you enjoy your life? I enjoy my life. I want you to live with full force. Don't forget swearing at this ceremony.

私は今、大学で心理学を勉強しています、やりたいことも見つけ、自分の人生を形作る一歩を踏み出しました。今日成人式を迎えて、舞い上がる気持ちがありますが、私は成人式というものを、大人からもらう大人への認定式だと感じています。この会を催してくださった庄司町長はじめ役場の方、今まで育ててくれた両親に感謝を述べ成人の誓いとさせていただきます。

私は大学進学を機にこの町を離れ、他県での生活を経験することになりました。地元を離れ改めて、自分が生まれ育った大石田町の良さを再認識させられています。きらきらとした都会の華やかさはありませんが、この町にはいつもあたたかい心がありました。私は自信をもって、大石田町が私のふるさとだと誇れます。6年前同じ学び舎で過ごし、共に学び励みあった友人たちも、現在は学業を継続している人、社会人として働いている人と様々です。今ある環境は違っても、私たちの原点は一緒です。常に謙虚で感謝の心を忘れず、それぞれの目標に向かって歩みを続けましょう。



大石田中学校 東北大会出場者が表敬訪問



東北中学校体育大会に出場する大石田中学校の生徒が7月29日(月)に役場応接室を訪れ、庄司町長に県大会での成績報告と、東北大会への意気込みを語りました。大会は8月上旬に東北各県を会場に開催されました。

ソフトボール

安達結子 齋藤ゆづき 森さくら 松沢もも
井刈真菜 相馬洸羽音 柏倉可怜 永登采佳
村岡 柚 高橋咲良 横山七海 早坂実樹
村岡 楓

陸上競技 男子低学年400mリレー

加藤慶人 押切維暉 渡邊斗亜 菅井胡汰
柴崎耕大 加賀祐一

柔道 個人男子90kg級 横山歩希

水泳 女子100m背泳ぎ 伊藤千織

16名の選手に激励金を交付



全国大会や東大会等に出場される方を激励するスポーツ大会出場激励金交付式が8月5日(月)に役場応接室で行われました。激励金が交付されたのは次の皆さんです。

齋藤 元希さん	(国士舘大学3年)
山科 信二さん	(大石田町剣道連盟)
柏倉 康平さん	(山形大学4年)
海藤 優さん	(天童高校3年)
菅井 千愛さん	(天童高校1年)
菊地 大樹さん	(山形商業高校3年)
保芦摩比呂さん	(大石田北小6年)
柴崎 愛有さん	(山形北高校3年)
青木 顕太さん	(山形中央高校3年)
海藤 峻二さん	(国際武道大学1年)
大場 来さん	(北村山高校3年)
横山 駿さん	(北村山高校3年)
横山 諒さん	(北村山高校2年)
椎谷 悠さん	(北村山高校2年)
小林 泰雅さん	(東桜学館高校3年)
木内 拓哉さん	(村山産業高校1年)

●第22回山形県ジュニア駅伝競走大会 8月4日(日) 会場：蔵王坊平クロスカントリーコース

【男子】 30位 56分21秒

児玉 勝平 (大石田中3年)
森 風人 (大石田中3年)
桐井 悠佑 (大石田中3年)
熊谷 学斗 (大石田南小5年)
鮎川 春空 (大石田南小5年)

【女子】 31位 1時間6分16秒

笹金 ゆあ (大石田中3年)
鈴木 芹奈 (大石田中3年)
青木紀乃香 (大石田中3年)
伊藤姫々華 (大石田南小6年)
鈴木 心結 (大石田小5年)



●第18回大石田町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が、7月18日(木)に町スポーツ広場で開催され、町内の高齢者65人が参加してさわやかな汗を流しました。大会結果は以下の通りです。

【大会結果】

第1位 青木 孝次 (庚申町)
第2位 青木 孝行 (大浦)
第3位 奥山 昭男 (上宿)
第4位 伊藤 富夫 (東町)
第5位 小玉 巖 (上ノ原)
第6位 斉藤 利雄 (愛宕町)



個人賞

【最高殊勲賞】

八代 光矢 (坂ノ上・下宿・上宿)

【敢闘賞】

二藤部悠介 (四日町)

【打撃賞】

尾内 陸 (坂ノ上・下宿・上宿)

【優秀選手賞】

高橋 純平 (小菅)

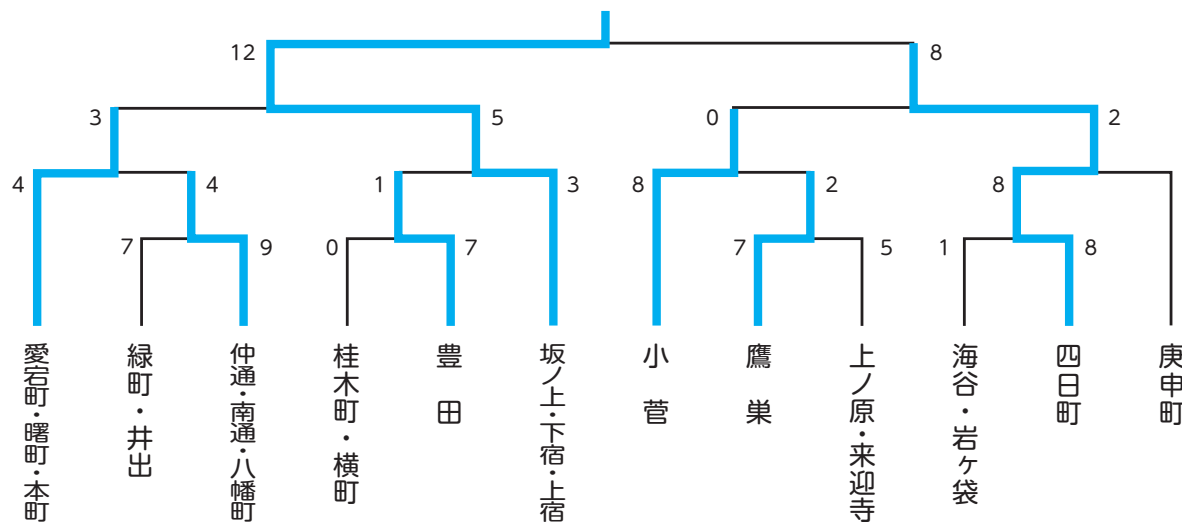
横山 塔太 (愛宕町・曙町・本町)

二藤部智輝 (四日町)

木村 玄輝 (坂ノ上・下宿・上宿)



👑 坂ノ上・下宿・上宿チーム



第65回大石田町地区対抗親善野球大会

坂ノ上・下宿・上宿チームに栄冠！

8月11日と13日の2日間に行われ、第65回大石田町地区対抗親善野球大会が行われました。大会には12チームが参加し、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。決勝戦は、おとし優勝の四日町チームと、坂ノ上・下宿・上宿チームの対戦。序盤から得点を積み重ねた坂ノ上・下宿・上宿チームが、見事優勝を果たしました。

優勝

坂ノ上・下宿・上宿

準優勝

四日町

第3位

小菅

第3位

愛宕町・曙町・本町



田沢沼をカヌーで大冒険



ト ムソーヤの冒険in田沢沼が7月20日（土）に開催され、町内の小学生が1人乗りカヌーやゴムボートに乗って田沢沼（大堤）の自然を楽しみました。トムソーヤの冒険シリーズは町教育委員会と町放課後子どもプラン運営委員会の主催で行われているものです。

子どもたちは大石田アウトドアクラブ遊be隊（柴田和徳隊長）のメンバーから指導を受けながら、1人乗りのカヌーに乗って水とのふれあいを楽しみました。また、トンボや水草のヒシなど、陸からは観察できない田沢沼で暮らす水辺の生き物たちをじっくりと観察していました。

夏の運転気を付けて

明 るい山形夏の安全県民運動の一環として、8月9日（金）に尾花沢市の道の駅ねまるで、大石田町交通安全母の会（土屋教子会長）など大石田町と尾花沢市の交通安全関係団体の約30人が参加して交通安全啓発グッズを配布する活動が行われました。

この運動はお盆の時期に毎年行われているもので、道の駅に立ち寄った旅行者や帰省客に「気をつけて運転してください」、「休憩しながら、安全運転をお願いします」と声をかけながら、「注意んガム」などと名づけた菓子やジュース、両市町の観光パンフレットを配って交通安全を呼びかけました。



夜の図書館にようこそ

町 立図書館の夏休み企画「ナイトライブラリー～よるのとしょかんへようこそ～」が8月3日（土）に開催され、小学生から大人まで約30人が参加して普段は入れない夜の図書館で読書を楽しみました。

この日は、普段の閉館時間となる午後7時に夜の図書館がオープン。館内に臨時の喫茶コーナーが設けられ、クッションやブランケットなどを持ち寄った参加者が涼しい館内で午後10時まで思い思いの場所でゆったりと読書を楽しんだほか、小学生向けにはおはなし会やアニメの上映会、折り紙を使った工作が行われました。



夏休みに各地区で学習会

夏 休み地域寺子屋が、各地区の公民館などで7月29日（月）に一齐に行われ、小中学生が教えあいながら夏休みの宿題などに取り組みました。地域寺子屋の取り組みはこれまで夏休みの初めに各小学校が行っていたもので、今回は中学生も加わって町内各地区の公民館など合わせて25の施設で一齐に開催されました。

このうち、ふたば児童センターでは、およそ40人の子どもたちが持ち寄った宿題などを広げ、学習を進めました。取り組みに初めて加わった中学生も小学生に考え方のヒントを出すなどして、学習を手伝いながら小中学生の交流を深めていました。



そばの種まきを体験



そ ばの種まき体験が8月2日（金）に大石田南小学校で行われ、3・4年生児童16人が作業を体験しました。これは横山地域農地・水・環境保全組織の協力で毎年行われているもので、はじめに子どもたちは指導者の井上邦義さんと小内英徳さんから種のまき方を教わり、玄関前でブルーシートを広げて練習を行ったあと、学校前の畑で種まきを体験しました。

畑に入ると児童らは、ゆっくり歩きながら、手のひらに持った種を左右に揺らすようにして均等にまいていきました。学校では、夏休み明けにそばの花の観察を行い、秋には刈り取りとそば打ち体験を行う予定です。

男の料理で健康意識高める

男 性限定の料理教室「男だけの料理教室」が7月31日（水）に虹のプラザ調理室で行われ、参加者が健康を意識したメニューで男の料理に挑戦しました。これは、普段料理をする機会が少ない男性を対象にした料理教室で、一食分の料理を作ることで栄養や塩分、摂取カロリーなどに気を付けてもらい、食生活改善につなげてもらおうと開催されたもの。

教室には町内の男性9人が参加し、管理栄養士の卯月小百合さんを講師に、主菜と主食の栄養がバランスよくとれる中華丼と、わかめときゅうりの酢の物など3品を作り、料理を味わっていました。



令和元年度大石田町合同表彰式

令和元年度大石田町合同表彰式が7月30日(火)に役場大会議室で開催され、自治功労者の方々に表彰状と記念品が贈られました。あわせて町内企業永年勤続優良従業員の表彰と卓越技能者の顕彰が行われ、教育委員会関係の寄贈者の方々に感謝状が贈られました。

表彰された方々は次のとおりです。(順不同・敬称略)

【自治功労者表彰】

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ■井上 清 (教育委員会委員・10年) | ■五十嵐恭也 (選挙管理委員会委員・10年) |
| ■齊藤 清
(固定資産評価審査委員会委員・10年) | ■小内 英徳
(固定資産評価審査委員会委員・10年) |
| ■佐々木英治 (区長・15年) | ■伊藤 康光 (区長・10年) |
| ■戸田 榮一 (文化財保護審議会委員・15年) | ■井上 祥子
(社会教育委員兼公民館運営審議会委員・15年) |
| ■高橋 満 (公民館役職員・15年) | |
| ■細矢 裕 (公民館役職員・10年) | |
| ■小内 晴夫 (公民館役職員・10年) | |
| ■細矢 幸枝 (健康推進員・10年) | |
| ■安達 良信 (善行) | |
| ■海藤 均 (善行) | |
| ■下宿地区会 (善行) | |
| ■土屋 弘行 (町職員・30年) | |
| ■小玉多枝子 (町職員・30年) | |

【町内企業永年勤続優良従業員】

- 小関 麗子 (庄司薬局)
- 佐藤 義人 (㈱佐々木建設)
- 黒沼 新吾 (㈱佐々木建設)
- 大場 重夫 (㈱佐々木建設)
- 小内真由美 (大石田町商工会)

【卓越技能者】

- 工藤 榮次 (左官)
- 小内 義一 (左官)

【教育委員会関係感謝状】(寄贈者)

- (株)友企画
代表取締役 星川 幸男 (遮光カーテン8組)
- トヨタライン株式会社
代表取締役会長 齋藤和博 (通学用帽子70個)
- 大石田ライオンズクラブ (児童図書73冊)



ニュース 玉手箱



民踊で楽しく体動かそう

大 石田スポーツクラブの短期教室「スポーツ民踊(みんよう)教室」の初回が8月6日(火)に、虹のプラザ・リハーサル室で開催されました。スポーツ民踊は各地に伝わる伝統的な踊りに、スポーツ感覚の手軽な振り付けで手足を動かすもの。参加者は山形の花笠音頭や福岡の炭坑節など民踊のほか、懐かしの歌謡曲に合わせて輪になって楽しく体を動かしました。

このスポーツ民踊教室は10月まで、毎週第1・第3火曜日に開催されます。1回だけの参加も出来ますので、興味のある方は虹のプラザ(Tel.35-2094)にお問い合わせください。



パラスポーツ「ボッチャ」に挑戦

パ ラススポーツ「ボッチャ」を楽しむイベントが8月1日(木)にふたば児童センターで行われ、児童館に通う子どもたちが、パラリンピックの正式競技になっているスポーツを楽しみました。ボッチャは2つのチームがそれぞれ赤色・青色のボールを投げて、白い的球にどれだけ近づけるかを競う競技。

今年度ふたば児童館では、さまざまなパラスポーツの体験会などを行っていて、この日は大石田町身体障がい者福祉会(長瀬敏雄会長)のメンバー8人も参加し、子どもたちと一緒に競技を楽しみました。ふたば児童センターでは11月にパラスポーツを楽しむイベント「ふたばパラリンピック」を開催する予定です。



そばの新しい魅力発見

山 形子ども育成事業「そばのいろいろな魅力を発見しよう」が7月28日(日)に虹のプラザで開かれ、北村山地域の小学生と保護者約30人が町の伝統食「にぎりばっと」とそば染めのハンカチづくりを体験しました。

これは県内の公立小中学校の校長・教頭などで組織する山形県教育共励会が主催したもので、参加者は北村山高校家庭クラブの生徒が取り組んでいる、あったまりランド深堀の温泉で煮出したそばの染液を使ったハンカチの染め物と、大石田にぎりばっと部(高橋陽介部長)が取り組んでいるそばはっと「にぎりばっと」づくりを体験し、新たなそばの楽しみ方と魅力に触れていました。



2019.10.19 土 開場 18:00
開演 18:30

Saya Asakura

Kousuke Atari

民謡日本一の山形娘、朝倉さや。
地上で最も優しい歌声。
奄美民謡の中孝介が奇跡の共演。

朝倉さや feat. 中孝介 ジョイントコンサート

大石田町
町民交流センター
虹のプラザ

〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町28番地

お問い合わせ Tel.0237-35-2094

【主催】大石田町／大石田町教育委員会／(一財)自治総合センター

チケット料金	【宝くじ助成による特別料金】
全席自由	一般 …… ￥2,000 (当日¥2,500) 高校生以下 …… ￥1,000 (当日¥1,500)
チケット発売日	2019年9月2日(月) 午前8時30分～
チケット販売所	▶大石田町民交流センター「虹のプラザ」事務室 販売時間 8:30～19:00 木・日・祝 8:30～17:15

※電話予約も可能です。(予約後10日以内にお支払いと
チケット引き換えをお願いします。)

- 未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。
- 前売入場券が完売した場合、当日券の販売はありません。
- 車椅子席が必要な方は、大石田町民交流センターまでお問い合わせください。



まちとしよ

～大石田町立図書館 infomation～

☎ 35-3877 大石田町民交流センター「虹のプラザ」内
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>

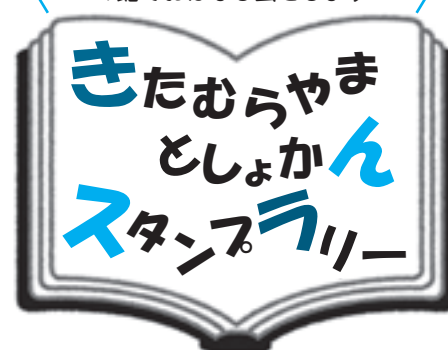
＼きてけらっしやい／



- 開館時間 9時～19時(日曜日・祝日は9時～17時)
- 休館日 毎週木曜日・特別整理期間ほか 《9月の休館日》5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)

☆「リレーおはなし会」合同開催☆

「おいしいおはなし」をテーマに
4館でおはなし会をします



開催期間

9/1 日～10/31 木

☆リレーおはなしかい開催☆

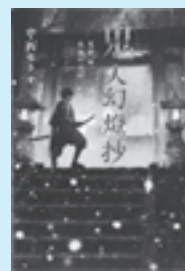
9/1 (日) 村山市立図書館(郷土プラザ)→
9/21 (土) 尾花沢市民図書館(悠美館)→
10/5 (土) 大石田町立図書館(虹のプラザ)→
10/27(日) 東根市図書館(まなびあテラス)

行事・展示のお知らせ

日時・場所	内 容
9月1日(日)～ 10月31日(木)	「北村山図書館スタンプラリー」 4つの図書館をめぐるスタンプ＆特製しおりを集めよう！ 全部集めた方に素敵な景品をプレゼント♪ ○景 品：各館が用意した景品(※先着順) ○スタンプカードは各館で配布します。 ○スタンプをもらう際、各館の利用カードが必要です。 ○お持ちでない方はその場で発行できますので、各図書館にお 問合せ下さい。 ※休館日・開館時間等は各館異なりますので、お問い合わせく ださい。
9月7日(土) 10:30～ 11:00 おはなしコーナー	司書によるおはなし会 毎月第一土曜日の30分は、図書館でおはなしを楽しみませ んか？お子さんも親御さんも気軽にどうぞ♪
9月17日(火) 10:00～ 11:30 虹のプラザ 2階小会議室1	読書会『『万葉集』を読む』 日本最古の和歌集『万葉集』を、皆さんで楽しく読みます。 ○お電話にて前日までお申込みください。 ○指定テキスト『よみたい万葉集』(村田 右富実監修、西日本 出版社刊)を各自ご用意ください。

今月は、どの「本」を読む？

— 新着図書からピックアップしてご紹介します —



『鬼人幻燈抄 葛野編』
(中西 モトオ著、双葉社刊)

江戸時代、「いつきひめ」とよばれる巫
女がいた。護衛の青年甚太は、討伐に赴
いた森で遙か未来を語る不思議な鬼に出
会う。江戸から平成へ、時を超えた鬼達
の愛と憎しみを描く、圧倒的デビュー作。



『世界の書店を旅する』
(ホルヘ・カリオン著、白水社刊)

世界最古の書店、政治的書店～様々な
書店を求めて世界各地を旅する著者が、
書店をめぐる歴史や未来像を踏まえ、「私
達にとって書店とは何か」を問いつける。
書店の奥深さを知れる紀行エッセイ。

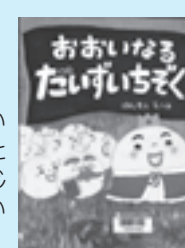
『ふるさとって呼んでもいいですか
6歳で「移民」になった私の物語』
(ナディ著、大月書店刊)

少女は外国からやってきた。移民社
会化する日本で、外国ルーツの子どもた
ちが直面するリアルを、みずみずしい言
葉で綴る。わずか6歳で全くの異文化
に投げ込まれたイラン人少女の奮闘と成
長の記録。



『おいなるだいちずいぞく』
(はしもと えつよ作・絵、偕成社刊)

「ねえ、じいや!そろそろよにでもい
い?」だいちずいぞくのわかきおうじと
だいちずいぞくのだいちぼうけんが今はじ
まる。だいちのことがよくわかる、じい
やのママ知識も載っている楽しい絵本。



※すべて町立図書館蔵書



地域おこし協力隊コラム

大石田町エトペソラ

今年の夏は気候の変化が激しかったですね。7月下旬まではとても寒く、本当に暑くなるのか心配していましたが、梅雨が明けてからは気温がぐんぐんと上がり猛暑日が続きました。「ようやく山形の夏らしくなってきたなあ」なんて言葉が自然と出た自分に少しびっくりしました。私も少しずつ山形県民になっています。

大石田に来て毎年参加しているのが「すいかオーナー制度」です。オーナーとして定植した苗を、すいか農家の芳賀さんが丹精込めて育てくださり、7月下旬に収穫イベントを迎えます。2年前に初めてオーナーになった時から、東京の友人たちも一緒に制度に申し込みをし、収穫

イベントには毎年欠かさず参加してくれています。

今年の収穫イベントに向かう時、駐車場で車から降りた途端、友人たちが「ああ～、ここにくると夏が始まったって感じがするよねー」と口々に言い始めました。仲間内で、夏に大石田に来ることが恒例行事となっていることがすごく嬉しいと感じた出来事でした。

この町報が出る頃は、きっと涼しくなっていることと思います。原稿を書いている今はお盆前。去年はこの時期に体調を崩してしまいましたが、今年はきちんと体調管理し、残り少ない夏を満喫したいと思います！（遠藤）



SNSで大石田町のエトペソラを発信中！！／ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」／instagram「oishida_et_pesora」

水明苑「虹の会」 花火大会に寄付金



水明苑「虹の会」（伊藤伸一会長）が、7月18日（木）に役場を訪れ、庄司町長に最上川花火大会で打ち上げられる町民号の寄付金を手渡しました。水明苑「虹の会」と保護者会は、花火大会に対し、毎年寄付を行っています。

大変ありがとうございます。

統計調査員を募集します あなたの力を調査に役立ててみませんか？



○統計調査員とは

統計調査には、国勢調査や農林業センサスなど様々な調査があり、年間2～3種の調査が実施されています。この各種調査の対象となる事業所や世帯を訪問して調査票を配布・回収などする方を統計調査員といいます。

○身分と報酬

調査期間中は非常勤の公務員となります。統計法の守秘義務が課されますが、活動中に災害にあった場合は公務災害補償が適用されます。調査が終了すると、調査ごとに定められた報酬が支払われます。

○登録要件

町内に住所を有する20歳以上の方で、警察、税務、選挙に直接関係のない方

○仕事のご案内

調査実施の2～3か月前に、調査の種類、期間、区域及び受け持ち件数等をご案内しますので、調査への従事が可能であれば仕事を依頼します。

（必ず毎年調査に従事しなければならないものではありません。調査員の選任は、調査の規模・お住まいの地域などを考慮して行いますので、調査への従事については希望に沿うことができない場合があります。）

登録手続き・問い合わせは下記まで

■まちづくり推進課 政策推進グループ Tel.35-2111(内線223)

9月の主な行事予定

日	行 事 予 定
1 (日)	クリーンアップおおいだ / 午前6時 / 町内一円
2 (月)	母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
3 (火)	第3回大石田町議会定例会（～13日まで）
7 (土)	大石田町民大学 / 午後1時30分～午後3時 / 虹のプラザ中会議室 テーマ「最上紅花集荷と大石田河岸」
11 (水)	心配ごと相談 / 午後1時30分～4時 / 社会福祉協議会 行政相談 / 午後1時30分～3時30分 / 虹のプラザ小会議室
12 (木)	年金相談 / 午前10時～午後3時 / 役場 101 会議室 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。Tel. 0233-22-2050
13 (金)	老人クラブ体育レクリエーション大会 / 午前8時30分 / クロスカルチャープラザ
17 (火)	母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
25 (水)	農業委員会総会 / 午前10時 / 大会議室 無料法律相談（要予約）午後1時30分～午後4時 / 社会福祉協議会
26 (木)	大石田町民大学 / 午後7時～午後8時30分 / 虹のプラザ中会議室 テーマ「習近平の野望とトランプ外交」
29 (日)	大石田町内一周駅伝競走大会 / 午前8時 / クロスカルチャープラザ

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

死亡事故ゼロ1307日目

（8月15日現在）

大石田町の事故発生状況

（1月1日～8月15日）



●発生件数 9件 （±0件）
●負傷者数 10人 （-1人）
●死亡者数 0人 （±0人）
※（ ）は前年比

交通安全は一人ひとりの声掛けから！
「シートベルト締めだがー」「安全運転でいげな」
「飲酒運転は絶対してはダメだがらな」

毎月1日は「大石田町交通安全行動の日」

＋ 日曜・休日急患の当番医

9月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電 話
1日(日)	吾妻クリニック	(35)2021
8日(日)	清 治 医 院	(23)2125
15日(日)	伊 藤 クリニッ ク	(23)3350
16日(月)	神林内科小児科医院	(35)2202
22日(日)	さかえクリニック	(53)8181
23日(月)	尾 花 沢 病 院	(23)3637
29日(日)	加 藤 クリニッ ク	(22)9877

家族の健康管理に気をつけて

短 歌

買ったならちゃんと使えと友は言う夫のための空気清浄機を
箱舟を浮かべて沼は風物詩天然蓴菜摘み取り進む
囲炉裏火に鮎焼き並ぶ昼の酔話はつきぬ歌詠むの会
大高きまま夏草は素枯れをり光の中にをさなき廃墟
連日の疲労にうとうとしてしまふ車窓を眺めることも忘れて
夏が来て仏壇前の座布団をイ草に替えて盆を迎える
茂吉翁が「のべり」と書きし河口なれ昨夜の豪雨にうねりて流る（酒田）
まちづくり拠点に役場あつたまりランドに町民憩ひと賑はひ
鮭延の城主の墓は五輪塔「空風水地」との刻み文字あり
「録音はあてにならない聞き書きが確かと覚える」郷土史家の弁

海 伊 杜 富 佐 小 小 鈴 八 鈴
藤 藤 樫 々 玉 関 木 欽 木
忠 哲 匠 榮 昭 春 祐 多 キ 智
男 夫 一 太 治 歌 子 喜 ク 恵
美

あなたの ニギハヤク

俳 句

雨上がり蛸鳴きて杉木立
琴の音に風鈴ゆれて二重奏
神戸港姉妹よびよす夏夜景
知らぬ間に南瓜の芽伸び実をつけて
吹く風や馳走されをる川床涼み
ひたすらに時を惜しむか蟬の声
みどり児や天下御免の大昼寝

星 土 斉 木 柏 青 青
川 屋 藤 村 倉 木 木
紀 忠 静 満 ヤ ミ 宙
一 子 子 喜 サ 女 翁
郎 子 子 子 子 翁

別冊

おいだものがたり ～資料館資料編～

■近岡善次郎作『緞帳原画』

『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展 描かれた最上川』展より

ただ今資料館では、『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展 描かれた最上川』展を開催中です。この中から、近岡善次郎作『緞帳原画』をご紹介します。

この「緞帳」とは、以前は福祉会館のホールで使用され、現在も虹のプラザの多目的ホールに設置されています。緞帳が紀文食品の寄贈による縁から、原画は大浦公民館に贈られていました。この度、資料館へ寄託いただき、最上川を描いた作品であることから今回の企画展での展示となりました。



新庄市に生まれた近岡善次郎は、旧制新庄中学校（現新庄北高校）を卒業後、川端画学校でデッサンなどの基礎を学びました。その後文化学院美術部にて石井柏亭、有島生馬、山下新太郎らに師事し、洋画を修めます。昭和31年には文部省留学生としてパリの美術学校に入学し、欧州各地を巡って風物を描きました。帰国後は師の石井らが創立した一水会員となり、広く公募展で多くの受賞作を残しています。

近岡善次郎の作品といえば、明治期の洋風建築を描いたシリーズや、最上三十三観音の連作が思い出されます。これらは、端正な線と水彩絵の具による淡い色彩で表されます。水彩で描かれた作品は他にも、人物や風景などがあり、いずれも写実的な表現が中心です。

しかし、近岡の作品の中には、必ずしも写実によらない大胆な構図と強い色彩によるものがあります。その一例が、JR仙台駅の改札前にあるステンドグラスです。伊達政宗と松島にかぶさるように、七夕飾りを大きく配置した鮮やかなステンドグラスは、一度は眼にしたことがあるのではないのでしょうか。公募により『杜の賛歌』と名付けられたこのステンドグラスの原画は、近岡の手によるものです。これはあくまで原画を担当した例ですが、水彩画の表現とは異なる、力強くもどこか幻想的な表現は、緞帳原画に通じるものがあります。この手法をとる近岡の作品の多くは、東北の祭りや伝説、風土を題材にしており、緞帳原画もこの一連の作品群に連なるもののようです。

改めてこの原画を見てみましょう。構図の基本は大橋を上流から眺めた景色でしょうか。川の上を花笠踊りの女性たちが練り歩きます。それらを画面中央よりの半月が煌々と照らしています。雪と着物の白、山と川の青、笠の紅花の赤、そして月の光の黄色が鮮やかに映えます。色彩が鮮やかなことに加えて、月の光の環は強く表現され、川の流れや踊り子たちの動きがあり、賑やかなはずが、どこか時が止まったかのような静的な印象さえ受けます。

『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展 描かれた最上川』展は 10月20日（日）まで



楽がき帳

毎年、大石田まつりが近づくと、この体のどこかを痛めています。おとしは両足のかかどが腫れ、去年は膝痛。今年は、腰でした。今年は維新祭踊れないかと思うような痛みに加え、暑さのせいか胃腸の調子も落として、体重がかなり落ちました。図らずもダイエットに成功です。もうすっかり良くなって無事に踊ることができ、食欲も戻りましたが、年々衰える体へこんでいます。

大石田まつりも終わりましたが、今年はまだ暑い日が続くようです。皆さんも体調管理には十分お気を付けてください。

(あ)

町の人口				令和元年 8 月 1 日現在	
世帯数	2,351 戸		(+1)		
総人口	7,019 人		(-9)		
男	3,448 人		(-7)		
女	3,571 人		(-2)		
(7 月中の異動)					
出生	2 人	転入	7 人		
死亡	9 人	転出	9 人		

※この数字は外国人数も含めた数字です。